

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 11 | 計画的な目的別会議や人材教育、また職員の個別面談が実施できていない部分が見受けられた。今後は職員との意思疎通の取組みが求められる。 | 目的別会議、個別面談等人材育成に必要な取組みを定期的実施する。 | 管理者は、職員の些細な行動・言動に注意し話し合いや意見交換をしながら一人ひとりが仕事に対しての意欲が高まるよう指導して行く。 | 6ヶ月 |
| 2 | 33 | 重度化した場合や終末期については指針を作成して、利用者や家族に文章で説明し同意を得ることも必要と思われる。 | 入居時に看取りは行っていない旨を伝えてはいるが、終末期については利用者、家族等の不安を取り除ける様担当医に相談し支持を仰ぎ再度話し合う時間を持つ。 | 毎年、ご家族等に意見を求め本人からも話を聞き終末期について、どう向き合っていくかを、ご家族等の同意が得られるように努める。 | 6ヶ月 |
| 3 | 35 | 地震、水害等、火災以外の災害を想定した訓練やマニュアルの整備が期待される。 | 災害時だけではなく、停電やいかなる状況でも対応出来るよう職員全員マニュアルを確認し対策に努める。 | 災害時等のマニュアル、施設の環境整備を見直し今まで以上に安全対策を心掛ける。訓練内容も見直し定期的に行う。 | 6ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |